

●パシフィック・フォーラムCSIS とは● www.pacforum.org

パシフィック・フォーラム CSIS はワシントン D.C.にある戦略国際問題研究所(CSIS)の独立したアジア太平洋部門として、ホノルルを拠点に活動している。パシフィック・フォーラム CSIS のプログラムは、地域の学界、官界、財界のリーダーとの対話や分析を通じて、現在、そしてこれからの政治、安全保障、経済、ビジネス、海洋政策をめぐる問題を網羅している。フォーラムは 1975 年に設立され、環太平洋地域に広がるネットワークを通してさまざまな研究機関と協力し、アジアの視点を生かしながら、研究成果や提言を地域のオピニオン・リーダー、政府、市民へと広く提供している。

ファクス参加申し込み用紙

『日米同盟の将来：東アジアの安全保障と核政策』

2010年 12月6日(月) 大阪大学中之島センター 10階
佐治敬三メモリアルホール 午後3時～5時30分

ファクス： 06-6315-5999 Eメール：

OsakaPD@state.gov

		日本語 Japanese	英語 English
氏 名			
勤 務 先	会 社 名		
	部 署		
	役 職		
	TEL/FAX		E-Mail
備 考			

日米安全保障フォーラム スピーカー略歴：

ラルフ・コッサ/Raph A. Cossa パシフィック・フォーラム CSIS 理事長/President, Pacific Forum CSIS

シラキュース大学卒業後、ペッパーダイ大学で経営学修士号、米国防情報大学で修士号（戦略研究）シラキュース大学卒業後、ペッパーダイ大学で経営学修士号、米国防情報大学で修士号（戦略研究）を取得。1993年まで米国防空軍に在籍し、空軍大佐を経て、太平洋軍総司令官特別補佐官を最後に退役。その後、スタンフォード大学フーバー研究所研究員、米国防大学国家戦略研究所副所長を歴任。現在はアセアン地域フォーラム専門家・賢人会議、米韓安全保障研究協議会、全米米中関係委員会、国際戦略研究所（ロンドン）のメンバーを兼任。アジア太平洋安全保障協力会議（CSCAP）の創設メンバーでもあり、運営委員会の共同議長を務めた。安全保障問題の専門家として40年以上にわたって米国の対アジア太平洋政策の企画・立案に携わっている。

星野 俊也/Hoshino Toshiya, Ph.D. 大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授

Professor, Osaka School of International Public Policy (OSIPP), Osaka University

専門は国際関係論。特に米国外交やアジア太平洋の安全保障協力などに詳しい。上智大学外国語学部卒業後、東京大学で学術修士号、大阪大学で国際公共政策博士号を取得。在米日本大使館専門調査員、プリンストン大学客員研究員、日本国際問題研究所主任研究員などを経て現職。2006年から2年間外務省に出向し、国際連合日本政府代表部公使参事官を務める。その間、コロンビア大学国際公共問題大学院客員研究員を兼任。主な著作に『アジア太平洋の多国間安全保障』（分担執筆、日本国際問題研究所、2003年）、『漂流する日米同盟：民主党政権下における日米関係』（分担執筆、海竜社、2010年）、「平和構築の時代－日本がリードする人間の安全保障＋国家機能の再建」（『外交フォーラム』2006年11月号）など、他多数。

ブラッド・グロッサーマン/Brad Glosserman パシフィック・フォーラム CSIS エグゼクティブ・ディレクター Executive Director, CSIS Pacific Forum

リード大学を卒業後、ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際問題大学院で修士号、ジョージ・ワシントン大学で法務博士号を取得。ジャパントイムズ紙の論説委員を10年間務めたのち、現職。パシフィック・フォーラム CSIS で国際会議の企画や出版のほか、ヤング・リーダー・プログラムの責任者も務める。米国の外交政策とアジアの安全保障について多数の論文を執筆し、インターナショナル・ヘラルド・トリビューン、ウォール・ストリート・ジャーナル・アジア、ジャパントイムズなどの各紙にも寄稿多数。

ダニエル・クリマン/Daniel Kliman 新米国安全保障センター 客員研究員

Visiting Fellow, Center for a New American Security

スタンフォード大学を卒業後、フルブライト奨学生として京都大学に1年間留学。プリンストン大学で博士号取得。国防総省、上院外交委員会、在日米国大使館、戦略国際問題研究所（CSIS）研究員などを経て現職。現在はアジア太平洋安全保障プログラムを担当。ウォール・ストリート・ジャーナル・アジア、ジャパントイムズ、クリスチャン・サイエンス・モニターなど各紙に寄稿。著書に9・11後の日本の安全保障政策を分析した *Japan's Security Strategy in the Post-9/11 World: Embracing a New Realpolitik* がある。日本語に堪能。

小谷 哲男/Kotani Tetsuo 岡崎研究所 特別研究員

Senior Research Fellow, The Okazaki Institute

専門は日米安全保障関係と海洋安全保障問題。1973年兵庫県生まれ。同志社大学法学研究科博士課程退学。米国ヴァンダービルト大学日米研究協力センター客員研究員を経て、2006年より海洋政策研究財団研究員を務め、2010年9月より現職。平和・安全保障研究所研究委員及びプロジェクト2049研究所国際諮問委員も務める。平和・安全保障研究所・安全保障研究奨学プログラム第13期生。パシフィック・フォーラム CSIS ヤング・リーダー。平成15年度防衛庁長官賞受賞。